

日調連発第160号

平成26年9月1日

各土地家屋調査士会長 殿

日本土地家屋調査士会連合会長

境界紛争ゼロ宣言!!

「2014日調連公開シンポジウム 『境界紛争が起きない社会』」の
開催について（お知らせ）

当連合会の会務運営につきましては、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、標記シンポジウムの開催日及び会場につきましては、平成26年5月30日付け日調連発第65号をもってお知らせしているところではありますが、同シンポジウムの内容等につきましては、別紙のと通りの企画で準備を進めておりますので、この旨お知らせいたします。

なお、先の第71回定時総会終了後にお話をさせていただきました会員向けの企画につきましては、今回のシンポジウムとは切り離して検討をしてみたいと考えておりますので、現時点では、別紙の企画を確実に成功させるという思いで動いているところです。

また、関係機関・関係団体等からの後援及び登壇者が確定後、チラシとともにご案内をいたしますので、多くの会員の皆様にご来場くださいますよう、ご配慮をお願いする次第であります。

「境界紛争ゼロ宣言」
2014 日調連公開シンポジウム構成企画案

日 時 平成 26 年 11 月 14 日 (金) 午後 1 時 30 分 ～ 午後 5 時 35 分 (開場:午後 1 時)
場 所 よみうりホール (読売会館 7 階) 東京都千代田区有楽町 1 - 11 - 1
主 催 日本土地家屋調査士会連合会
後援依頼 法務省、国土交通省、一般財団法人 日本ADR協会、日本司法支援センター
公益財団法人 東京財団、一般社団法人 不動産流通経営協会、地籍問題研究会

13 : 30～17 : 35 公開シンポジウム『土地境界紛争が起きない社会』

1 講演① 「日本社会が抱える土地制度の課題」 (40 分)

～10 年後のために境界確定・登記を～

東京財団 研究員兼政策プロデューサー 吉原祥子氏

耕作放棄地や荒廃山林など、過疎化から発生する諸問題に関して、「土地境界」の視点から問題提起いただき、さらには空き家問題、未相続にも言及し、現代日本全体が目をそらしてはならない問題に警鐘を鳴らしていただく。

2 講演② 「まちづくりと土地境界問題」 (40 分)

～建築基準関係規定の土地の制度設計～

天津市都市計画課建築指導課 副参事 (建築主事) 戸川勝紀氏

主に建築確認申請時における問題点 (敷地調査、道路後退等) を「土地境界確認」の切り口で提起いただき、不動産登記法が求める理念と建築基準法が求めるビジョンについて、国民の認知度や整合を図る必要性等を講演いただく。

<休憩 (15 分) >

3 寸劇 (25 分 準備を含む)

土地境界紛争はなぜ起きるのか、土地境界は誰が守るのか、土地境界と土地家屋調査士の果たす役割を寸劇でわかりやすく伝え、後段のパネルディスカッションにつなげていく。

4 パネルディスカッション (100 分)

「土地境界紛争はなぜ起きるのか?・土地境界は誰が守るのか?」(仮題)

コーディネーター 岡田潤一郎 (土地家屋調査士・日調連副会長)

進行アシスタント 赤川美咲氏 (土地家屋調査士・愛知会)

パネリスト 吉原祥子氏 (東京財団研究員)

戸川勝紀氏 (大津市建築主事)

山崎司平氏 (弁護士)

小林 浩氏 (不動産流通経営協会会員 東急リバブル株式会社)

未 定 (法務省民事局民事第二課)

海野敦郎氏 (土地家屋調査士・日調連常任理事)

(1) 導入・問題設定 (各界から見た土地境界紛争の現状と課題)

境界紛争の現状と課題、それぞれを踏まえて紛争を未然に防ぐ視点と方策を多彩なパネリストが、様々な立場・角度から議論する。

日常の社会の中で境界紛争が表面化してしまうメカニズムを検証し、市民生活・不動産流通・経済活動への影響を問題提起。

建築行政、政策研究者、法律家、不動産流通部門、法務省、そして市民から見た境界紛争の現状と課題。

日々、境界と向き合っている土地家屋調査士から見た境界紛争の実態と課題。

- ・ 建築確認の現場と意志は通い合っているのか
- ・ 政策として提言は十分なのか
- ・ 不動産の流通の視点から、期待にこたえているのか
- ・ 法的対策と法整備の観点から

(2) 境界紛争の起こりにくい社会を実現するための方向性と展望

境界紛争の実態と課題をふまえ、どういった視点で、どのような内容を発信していくか。

- ・ 各界、市民それぞれの立場からの展望

(3) 締めくくり

「境界紛争ゼロ宣言」に向けて、土地家屋調査士以外の視点から提案いただく。

5 境界紛争ゼロ宣言

講演、寸劇、パネルディスカッションの内容を踏まえ、「境界紛争ゼロ」へ向けた宣言を行い閉会とする。